



年頭のあいさつ

越生町長

新井 雄 啓

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。みなさまにおかれましては、輝かしい令和2年の新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、日ごろから町政発展のためにご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、本町でも台風19号に見舞われ、自然災害の恐ろしさを痛感いたしました。

災害対応に当たりましては各地区や消防団をはじめ、町内外の多くのみなさまにご支援とご協力をいただきました。改めて深く感謝申し上げます。

この災害により、本町には、現在もなお困難な状況におかれている方々がおります。みなさまが一日も早く平穏な生活を取り戻すことができるよう心から願っております。

さて、昨年を振り返りますと、長期にわたって取り

組んで参りました事業が完了し、「活力ある越生」の実現に向かって大きく前進した一年でした。

まず、安全で安心・住みよいまちづくりのための事業として、平成26年5月から進めて参りました越生駅東口開設事業が遂に完了し、昨年の3月16日から供用を開始いたしました。

また、人を活かし人が活きるまちの実現のために取り組んで参りました町営樹木葬「五大尊花木墓苑」事業も昨年の4月1日から申込みを開始し、順調に運営が開始されました。

教育関係では、越生小学校、梅園小学校のパソコン教室用のパソコンを、全てタブレット化し、教育環境の充実を図りました。

産業・観光振興としては、越生駅東口の開設と、新元号のスタートを記念して、「花をつつじに指定している市区町村交流つつじハイキング」を開催しました。また、越生町の梅の消費拡大・生産振興を図るため、

「越生べに梅」のロゴマークを商標登録し、ブランド化を図りました。

防災行政無線のデジタル化につきましては、昨年の9月議会で、施工業者に関する議案の承認を得たところでございます。今後は、令和2年度内の工事完了に向けて取り組んで参ります。

その他にも、豊島区や朝霞市、陸沢町などの自治体間交流事業の推進をはじめ、地域包括システムの充実や、健康づくり事業、安心・安全な町づくりの推進などを行いました。

今年は、令和3年度から令和12年度までを計画期間とする「第六次越生町長期総合計画」の策定に向け、越生町の将来あるべき姿と、その実現に向けた具体策について検討して参ります。

防災行政無線のデジタル化につきましては、今年度の完了を予定しております。また、昨年の台風19号の被災状況や災害対応の実績を踏まえ、越生町防災計画

を見直し、災害に強いまちづくりを推進して参ります。旧越生駅西口駅舎につきましては、JR職員の無人化により、町に譲渡されたため、新たに「観光案内と待合い機能を併せ持つおもてなし施設」を建設いたします。

来年度は、私にとりましても、今任期最後の一年であります。これまで「活力ある越生の創造」をスローガンとして掲げ、職員一丸となって積み上げてきた様々な成果が、町民の皆様にしつかりと実感出来る一年にするとともに、越生町の持つポテンシャルを活かし、首都圏に於ける「癒しの郷」として更に活性化を図りたいと決意しております。今後も暖かいご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、みなさんのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和元年度越生町

観光写真コンクール

一般社団法人越生町観光協会が主催する令和元年越生町観光写真コンクールの表彰式が10月26日に越生町観光案内所で行われました。今年は147点の中から、15点が入賞しました。

今回は、推薦作品と、入賞された町内の方の作品を紹介します。

推薦

「妹が授かりますように」

厚目 正さん（毛呂山町）



持選



「春雪(法恩寺)」宮崎登代子さん（本町）

東武鉄道賞



「梅園走る青い鳥号」
後藤昇さん（越生東一）

審査員特別賞



「とおく」
澤登和佳奈さん（県立越生高等学校）

JR東日本賞



「お花見列車 村里へ」
小澤利雄さん（古池）